

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	55
2. 大学等名	東京工科大学
3. テーマ	IV. 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）
4. 取組学部等名	工学部
5. 事業期間	平成27年度～令和元年度（5年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（399.5文字）
<p>本学は昭和61年の開学以来、「生活の質の向上と技術の発展に貢献する人材を育成する」という基本理念のもと実学主義教育を行ってきたが、国の政策方針等に鑑み、長期学外学修プログラムによる主体的学修を促すことが必要と考え、平成27年度に新設した工学部において、約2か月間のコーオプ実習（有給の学外就業体験）を全学生（入学定員280名）に対し必修科目として実施した。本コーオプ教育プログラムは、事前教育、学外就業体験、事後教育で構成される。事前教育では、主体的行動力、就業マナー、コミュニケーション能力等を身につける。就業体験では、コーオプ実習期間の全ての開講科目をクォーター開講にし、8週間のギャップイヤーを作り、学外就業体験を行う。また事後教育では、就業体験の振り返りやキャリア教育の推進等、主体的な学修の定着を図ることを目的とする。我が国で取組事例の少ないコーオプ教育プログラムを実施し大学教育改革を加速させる。</p>	